

(4)年間事業計画

人財育成委員会 年間事業計画

委員会 人財育成委員会		基本方針
委員長	水谷 仁哉	会員自身が三信条を基に主体性と信頼関係を構築し、共創力を育むことで、時代に求められるリーダーとなる人財を創出する。
副委員長	太田 克洋	
委員	・ 谷口 太泉	
	・ 多賀 祐人	
	・ 洪谷 卓也	
	・ 水谷 孔輔	

委員長方針

大垣青年会議所は創立以来、修練、奉仕、友情の三信条を礎とし、明るい豊かな社会の実現のために歩み続けてきました。そしてその理念はいつの時代も変わることはありません。しかしながら、社会情勢や人々の価値観は目まぐるしく変化しているため、時代に即した活動や運動をしていかなければ、明るい豊かな社会の実現はあり得ません。そのような時代だからこそ、多様な立場の人々の意見を集約し、新しい価値を作り上げていく共創型のリーダーが必要であり、会員自身の主体性と信頼関係の構築が重要な要素となります。

青年会議所の三信条を基に会員自身が主体性と信頼関係を構築し、共創力を育むことで、時代に求められるリーダーとなる人財を創出していきます。

<事業計画及び予算>

- 事業名** 4月度例会の企画・運営

目的 新入会員研修を通しての学びを振り返るとともに、JAYCEEとしての責任と自覚を再認識する機会とする。

予定と方法 (1) 4月
(2) 新入会員研修

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	80,000	一般会計	80,000
合計	80,000	合計	80,000
- 事業名** 7月度例会の企画・運営

目的 主体性と信頼関係の構築の重要性を知ること、時代に求められる人財を創出する一助とする。

予定と方法 (1) 7月
(2) 種別・公益事業(1)人材育成事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	1,900,000	一般会計	900,000
		登録料	1,000,000
合計	1,900,000	合計	1,900,000
- 事業名** 11月度例会の運営

目的 新入会員による交流会へ参加、協力することで、会員同士の信頼関係を深める。

予定と方法 (1) 11月
(2) 新入会員による交流会への参加・協力
- 事業名** 新入会員の指導

目的 三信条を基に会員自身の主体性を構築し、共創を実現することができる人財を育成する。

予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 新入会員研修の実施(3回)
(3) 新年互礼会アトラクションへのフォロー及び指導
(4) 理事会へのオブザーブ参加
(5) 3分間スピーチの実施
(6) 岐阜ブロックアカデミー2025への参加
(7) 種別・その他事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	20,000	一般会計	20,000
合計	20,000	合計	20,000

5. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導
- 目的 青年会議所で構築した主体性と信頼関係を基に、新入会員が交流会を企画・運営することで、時代に求められる人財となるよう指導する。
- 予定と方法 (1) 5月～12月
(2) 議案上程及び議案上程セミナーの実施
(3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施
(4) 事業実施準備及び事業報告の指導
(5) 種別・その他事業
6. 事業名 各委員会及び会員拡大特別会議との連携
- 予定と方法 (1) その他

西美濃共創委員会 年間事業計画

委員会 西美濃共創委員会		基本方針
委員長	川瀬 弘樹	西美濃地域の発展のために、多様な立場の意見を踏まえて、西美濃を共創し、地域の魅力を発信する。
副委員長	村井 健人	
委員	伊藤 晋平	
	北村 光	
	諏訪 圭亮	

委員長方針

西美濃地域は、農業、工業、住宅地がバランスよく存在し、豊かな自然に囲まれた地域です。そうした資源を活かしたまちにするために、高い志を持って官民一体で実現していく必要があります。

そのため、最重点ビジョンである「災害を見据えた広域連携に向けた取り組み」の最終年度として、今後起こりうる災害を見据え、関係各諸団体と連携し、より一層西美濃地域住民の防災意識を高めていきます。そして、2023年から2025年までの運動を検証し、2026年以降の運動をどのように展開するかを定め、地域みらいビジョンの実現を推進します。

また、大垣青年会議所が、西美濃地域を更に持続可能なまちへ発展させていくために、西美濃を想う同志と熱く真剣に語り合い、新しい価値への理解と尊厳を持って、西美濃地域の魅力を発信していくことに尽力します。

<事業計画及び予算>

- 事業名 3月度例会の企画・運営

目的 関係各諸団体と連携し、西美濃地域住民の防災意識を高め、実践的な学びの機会を提供する。

予定と方法 (1) 3月
(2) 種別・公益事業(2)地域活性化事業
(3) 最重点ビジョン該当項目:災害を見据えた広域連携に向けた取り組み

予 算		予 算	
<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 2026年度以降の最重点事業制度の意味や目的の理解を深め、公益目的事業を構築する手法を学ぶ機会とする。

予定と方法 (1) 6月
(2) 2026年度以降の最重点事業制度と公益目的事業の理解
(3) その他
- 事業名 9月度例会の企画・運営

目的 地域の歴史と魅力を学び直し、郷土愛を育むと共に、産官と連携してまちの魅力を発信する。

予定と方法 (1) 9月
(2) 種別・公益事業(3)青少年育成事業

予 算		予 算	
<支出の部>		<収入の部>	
事業費	400,000	一般会計	400,000
合計	400,000	合計	400,000
- 事業名 最重点事業制度の推進

目的 最重点事業制度への理解を深めると共に、過去3年間の対外例会を検証し、2026年度以降の最重点ビジョンの策定を推進する。

予定と方法 (1) 過去3年分の対外事業の検証
(2) 全体会議の開催(1月、5月)
(3) その他
- 事業名 真の民主主義社会の推進に関する事業

目的 地域住民が各々の意思を発信できる機会を知ることで、住民主体のまちづくりの推進の一助とする。

予定と方法 (1) 岐阜ブロック協議会との連携
(2) 種別・その他の事業
- 事業名 各委員会及び会員拡大特別会議との連携

予定と方法 (1) その他

渉外広報委員会 年間事業計画

委員会 渉外広報委員会		基本方針
委員長	太田 佳祐	<p>共感に重きを置いた情報発信及び渉外活動によってステークホルダーとの関係を深め、会員の成長と共創力の向上に寄与する。</p>
副委員長	藤井 英	
委員	川瀬 英三朗	
	古田 弘樹	
	溝辺 光将	
		・ 細野 晃大
		・ 谷口 友樹
		・ 水森 等紀
		・ 渡邊 加那子

委員長方針

大垣青年会議所は、先輩方の多大なる努力によって築き上げられた、西美濃地域の関係各諸団体との強固な繋がりを持っています。この繋がりを活かし、大垣青年会議所とステークホルダーとの共創関係を深めていきます。そのためには、大垣青年会議所の活動や運動が西美濃地域の住民に共感を生むように情報発信の方法を見直すと共に、当委員会が対外窓口となり、出向者と密に関わりながら支援し、各事業への会員の参加を促します。

渉外及び広報活動によって大垣青年会議所とステークホルダーの共創関係を深め、会員の成長と共創力の向上に寄与してまいります。

<事業計画及び予算>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 創始の精神に触れ伝統を感じると共に、現在の青年会議所についての理解を深めることで、今後の活動や運動に対する意欲を高める。

予定と方法 (1) 2月
(2) 種別・その他の事業

予 算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	150,000	一般会計	150,000
合計	150,000	合計	150,000
- 事業名 8月度例会の運営

目的 住民に親しまれている事業に参画することで地域住民と関係各諸団体との共創関係を深める。

予定と方法 (1) 8月
(2) 第41回水門川万灯流しへの参加・協力
(3) その他
- 事業名 10月度例会の運営

目的 地域の事業に参画することで、西美濃地域関係各諸団体と地域の魅力を共創する。

予定と方法 (1) 10月
(2) 第50回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
(3) その他
- 事業名 広報管理に関する事業

目的 広報活動を通じて大垣青年会議所の活動や運動を正確かつ魅力的に発信し、地域社会や国内外の同志からの共感を得る。

予定と方法 (1) HPの管理・運営
(2) SNSを利用した情報の発信
(3) 機関誌の発行
(4) 種別・その他の事業

予 算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000

5.	事業名	JCI、JCI日本の事業の窓口及び参加推進
	目的	対外事業の窓口として各事業の内容や目的を伝え、目的意識の向上をはかることで事業への参加を推進し、共創力を高めていく。
	予定と方法	(1) JCI日本 京都会議(1月)京都 (2) 岐阜BC 岐阜会議(2月)岐阜 (3) JCI ASPAC(6月)ウランバートル (4) 東海DC 東海コンファレンス(7月)愛知 (5) JCI日本 サマーコンファレンス(7月)横浜 (6) 岐阜BC 岐阜ブロック大会2025(9月)飛騨 (7) JCI日本 全国大会(10月)佐賀 (8) JCI JCI世界会議(10月)チュニジア
6.	事業名	花蓮JCとの交流に関する事業
	目的	花蓮国際青年商會との交流を通じて国際的な共創関係を深め、見聞を広めることで会員の成長を促し、西美濃地域の永続的な発展に寄与する。
	予定と方法	(1) その他
7.	事業名	各LOMとの交流
	目的	他LOMとの交流を通じて共創関係を深め、会員が成長する機会とする。
	予定と方法	(1) JCI鹿児島との防災ネットワークに関する協定の更新(1月) (2) JCI各務原との交流事業
8.	事業名	西美濃地域関係各諸団体との窓口及び協力
	予定と方法	(1) その他
9.	事業名	趣味の会の窓口
	目的	趣味の会を通じて会員が互いの興味や価値観を共有し、共創力を育む機会とする。
	予定と方法	(1) 趣味の会の募集・登録窓口
10.	事業名	各委員会及び会員拡大特別会議との連携
	予定と方法	(1) その他

会務運営委員会 年間事業計画

委員会 会務運営委員会		基本方針
委員長	石川 貴之	会員同士の交流をはかり、関係を深め、青年会議所の活動や運動に邁進できるように、正確かつ円滑な会務運営を行う。
副委員長	後藤 孝憲	
委員	新井 貢	
	新川 聖平	
	森 大地	
	・ 中川 彰文	
	・ 近藤 慎也	
	・ 花村 嶺	

委員長方針

大垣青年会議所は、今年度で74期目を迎えます。私たちが今日も大垣青年会議所の会員として活動や運動が行うことができるのは、先輩方が絶えず西美濃地域のために尽力されてきたからです。先輩方の弛まぬ努力に感謝し、伝統と精神を受け継ぎ、次代に繋がなくてはなりません。

しかしながら、近年、大垣青年会議所の会員数は減少傾向にあります。会員一人ひとりの力がこれまで以上に必要とされている今だからこそ、会員同士の交流をはかり、関係を深め、互いに担当する活動や運動に積極的に関与する意識を高めることが重要になります。主体性を持って会員一人ひとりが会議に臨むようになれば、青年会議所の原点である会議の質を高めることに繋がります。そして、質の高い会議を行い続けることで西美濃地域との共創があると考えています。

会務運営委員会として全会員が活動や運動に邁進できるように、正確かつ円滑な会務運営に努めます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2025年度の大垣青年会議所の方針を発信することで組織の方向性を共有し、今後の活動や運動に対する意欲を高める場とする。

予定と方法 (1) 1月
(2) 新年互礼会
(3) 種別・その他の事業

予 算		<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	200,000		一般会計	200,000
	合計	200,000		合計	200,000
- 事業名 5月度例会の企画・運営

目的 会員同士の交流をはかり関係を深めることで、今後の活動や運動により積極的に参加するための契機とする。

予定と方法 (1) 5月
(2) 会員交流事業
(3) 種別・その他の事業

予 算		<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	50,000		一般会計	50,000
	合計	50,000		合計	50,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 感謝と労いの気持ちを卒業生に伝え、伝統や精神を継承すると共に、次代へ繋げる場とする。

予定と方法 (1) 12月
(2) 卒業生を送る会
(3) 種別・その他の事業

予 算		<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	150,000		一般会計	150,000
	合計	150,000		合計	150,000
- 事業名 新入会員予定者及び賛助会員予定者の面接及び資格審査

目的 新入会員予定者及び賛助会員予定者の面接及び資格審査の設営を正確かつ円滑に行う。

予定と方法 (1) 新入会員予定者の面接(7月)設営
(2) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の資格審査(12月)設営
(3) 種別・その他の事業

予 算		<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	10,000		一般会計	10,000
	合計	10,000		合計	10,000

5. 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営
目的 正確かつ円滑な総会の運営を行う。
予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営
(2) 議事録の作成
6. 事業名 理事会運営に関する事業
目的 各委員会との連携を密に行い、正確かつ円滑な理事会の運営を行う。
予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営
(2) 議事録の作成
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
7. 事業名 正会員及び賛助会員の募集手続
目的 正会員及び賛助会員の募集手続きを正確かつ円滑に行う。
予定と方法 (1) 正会員の募集手続(1月～7月)
(2) 賛助会員の募集手続(1月～12月)
8. 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業
目的 2025年度の大垣青年会議所の情報を資料としてまとめることで、正確かつ円滑な活動の一助とする
予定と方法 (1) 基本資料の作成・会員名簿の作成
(2) 定款及び運営規則の管理
9. 事業名 大垣青年会議所の運営全般に関する事業
目的 活発な青年会議所活動・運動を会員が行えるよう、正確かつ円滑な会務運営を行う。
予定と方法 (1) 例会及び事業等の配布物準備
(2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理
(3) 事務局の管理・運営
(4) 弔事に関する運営
(5) 定款・運営規則等の規定の精査・改正
(6) メーリングリストの構築・管理
(7) 情報公開に関する管理
(8) その他
10. 事業名 情報管理のための事業
目的 情報を管理することで、2025年度の大垣青年会議所の活動・運動を次代へ繋げる。
予定と方法 (1) 各事業記録の整理・保管
(2) 各事業写真の保管
(3) 議案書の保管
(4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
11. 事業名 公益法人格制度に関する運営・手続
目的 公益法人格の意義を深く理解し、正確な運営を行う。
予定と方法 (1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
12. 事業名 財務管理に関する事業
目的 厳正な財務管理、資産管理のもと、各委員会と連携し正確な会務運営を行う。
予定と方法 (1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理
(2) 基金運用計画に基づく資金管理
(3) 予算立案に伴う業務
(4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務
(5) 中間決算及び年度末決算
(6) 預り金の管理
13. 事業名 各委員会及び会員拡大特別会議との連携
予定と方法 (1) その他